

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和 6 年 7 月 25 日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
福井県鯖江市下河端町6号1番地1
氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
KBセーレン株式会社
代表取締役社長 寺前 勝基
第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第4項の規定に基づき、
事業者行動計画を策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	KBセーレン株式会社 代表取締役社長 寺前 勝基
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	福井県鯖江市下河端町第6号1番地1

1 事業者の概要

事業所の名称	KBセーレン株式会社長浜工場							
事業所の所在地	滋賀県長浜市鐘紡町1-11							
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	1	4	8	繊維雑品染色整理業		
事業の概要	繊維素材の編立・加工・検査・出荷							
従業員の数	176人			操業時間		24時間／日		
該当する事業者の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者							
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	☐ 任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	7	台	熱源設備	3	台	照明設備	台
	コンプレッサ	7	台	空気調和設備		台	その他	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2018 年度	報告対象年度	2023 年度
	終了年度	2023 年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

環境保全に努め、美しい地球環境を実現

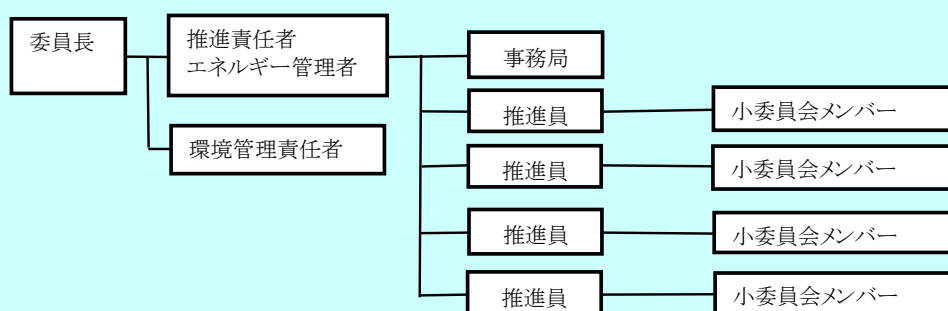
環境への対応を従来から重要課題として位置付けて来たKBサーレンは21世紀も、かけがえのない地球環境を私達の子孫に残して行くために、製品の開発、生産、流通、消費、廃棄に至るあらゆる段階において環境保全に対応し、省エネルギー活動にも積極的に取組みを進め、電力や燃料の使用量の削減に努めています。原料となる化学物質の安全性に関し、法規制や地域の公害防止規定を遵守し、大気や土壌の保全に対し「ゼロエミッション」をテーマに管理しています。

1. 環境法規制等、当工場が同意するその他要求事項を遵守し、環境汚染の防止に努めます。
2. 特に次の事項について重点的に行います。
 - (1) 琵琶湖水質汚濁防止
 - (2) 地球環境を視野に入れた省エネルギー、省資源
 - (3) 廃棄物の適正管理とその削減及びリサイクルの推進
 - (4) 科学物質の適正管理
 - (5) 周辺景観を考慮した環境活動
3. 環境に関する目的・目標を設定し、工場内の環境管理体制の一層の充実と見直しによる継続的な改善に努めます。
4. 環境教育・啓蒙活動を実施して、全従業員の環境方針の理解と環境問題に対する意識向上を図ります。

2 取組の推進体制

長浜工場におけるエネルギーの使用の合理化を推進するために工場長を省エネルギー委員長とする委員会を設置する。委員長は省エネルギーを推進するため、エネルギー管理者を省エネルギー推進責任者とし、各部署より夫々推進員を任命する。省エネルギー委員会は工場長、環境管理責任者、エネルギー管理者、推進委員で構成され事務局は施設管理係が担当する。

省エネルギー委員会

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネルギー設備の導入については計画的に実施

1. 環境（用・排水）設備のインバーター化
 - 高効率水中攪拌機導入
 - 排水処理加圧水ポンプインバーター化
2. 設備関係
 - 高効率モーター使用
 - コンプレッサーの高効率化
 - 照明設備の省エネ化
 - 空調設備の省エネ化への移行

電気設備の更新

1. 各変電所高効率化トランスの順次移行

省エネ委員会での取り組み

1. 節電・節水パトロール
2. 工務室・休憩室の室温管理
3. エアコンフィルター掃除状況確認

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	受電所・変電所トランス更新	2020年	未実施
2	設備導入	照明設備LED化	2018年	継続計画再検討
3	運用改善	エアーコンプレッサー省エネ改善(運転吐出圧力適正化)	2018年	実施済
4	運用改善	省エネ委員会によるエネルギー削減対象、省エネパトロール強化	2018年8月	継続実施
5	運用改善	クリーンルーム室温管理、検査室休日エアコン停止、長期離席のときの照明・空調・パソコン遮断	2018年8月	継続実施

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
上記(1)取組等により前年度を基準として下記のとおり数値目標の達成を目指します。 原単位 エネルギー使用量(原油換算)/生産数量(重量) 2017年度実績値:1.134(L/kg)に対し1%削減 2018年度目標値:1.12(L/kg) 2018年度以降も前年度比1%削減を目標とする。 原単位の考え方 エネルギーの使用量は、生産数量に大きく影響を受けるため生産数量を原単位の指標(分母)として設定しました。	2023年度原単位実績は0.801(L/kg)と前年度実績の0.868(L/kg)に対し約7.6%と大幅に改善された。(数値は省エネ法改正前の数値)

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2019)年度	(2020)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度
原油換算エネルギー使用量	kL	6,035	5,236	5,276	5,745	5,745	5,379
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	10,958	9,643	9,426	10,120	10,688	9,711
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	10,958	9,643	9,426	10,120	10,688	9,711
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	0
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		1.134	0.924	0.857	0.873	0.868	0.768 (0.801)

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施 スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						